広報
ふかうら
5月号
2016
No.134

元気に帰ってきてね！

晴れ空の下、サケ・マス稚魚放流式が行われました。

稚魚たちの旅立ちに、子どもたちは「元気に帰ってきてね！」と声をかけていました。

「食」による観光まちづくりへ強固な連携

新・ご当地グルメネットワークを設立

4月18日、「深浦マグロ料理推進協議会」（西﨑朋会長）、「平内ホタテ料理推進協議会」（三上豊会長）、「中泊メバル料理推進協議会」（中畑哲也会長）、「田子ニンニク料理推進協議会」（佐藤剛大会長）の4協議会が「新・ご当地グルメネットワークあおもり（S－1あおもり）」を設立し、地域間連携の強化と、「食」による観光まちづくりを強力に進めていくことを発表しました。初代会長には深浦マグロ料理推進協議会の西﨑会長が就任しました。

県内では、3年前に青森県初の新・ご当地グルメとして誕生した「深浦マグロステーキ丼」のほか、「平内ホタテ活御膳」「田子ガーリックステーキごはん」の4品が提供されています。

青森県庁内で行った記者会見で、西﨑会長は「青森県の地域経済の発展を目的に、新たな仲間を増やしながら、「食」による観光まちづくりを進めていきたい」と抱負を述べました。

各地の新・ご当地グルメを手掛けている㈱リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンターエグゼクティブプロデューサーのヒロ中田さんは「青森県は非常に食材に恵まれていると感じている。今後は空白地となっている下北地域にも進出し、青森県内の周遊観光を活性化させたい。将来的には、参加団体を10団体に増やし年間50万食販売を目指したい」と語りました。

また、会見に先立ち、三村申吾青森県知事を表敬訪問し、西﨑会長から設立趣旨や各協議会のグルメを紹介。三村知事は「地域の最高の食材を使っていいものを作っていくことは素晴らしい取組み。一体となって元気を発信していきましょう」と激励しました。

S－1あおもりでは、7月から始まる「青森県・函館デスティネーションキャンペーン（青函DC）」に合わせ、4グルメを巡るスタンプラリーを企画。今後、県内外のイベント出店なども視野に入れ活動していくこととしています。

※S－1あおもりの「S」は、「Shin（新と真実）＋Special＝新しいスペシャル料理」、「1」はナンバーワンの意味。全国母体組織として「S－1パートナーズ」があります。

深浦マグロ料理グランプリ2016 開催決定！

深浦マグロの旬は夏！今年もマグロ料理の祭典「深浦マグロ料理グランプリ」が開催されます。今年は販売食数を増やしてお客様をお待ちしてます。

日時　7月24日（日）11時から15時
場所　深浦町役場駐車場特設会場

新作料理の開発に熱が入る協議会のメンバー

役場マグステ食堂オープン

4月27日、役場内食堂に全国初となる新・ご当地グルメ提供店「深浦町役場マグステ食堂」がオープンしました。

開店前には、吉田町長や深浦マグロ料理推進協議会西崎会長、深浦マグロボーイズ＆バックダンサーズ（FMB）がテープカットを行い、開店を祝いました。

第1号のお客さんとなった八木橋直光さん（青森市）は「こんなうまいマグロ久しぶりに食べた。生でも焼いてもおいしかった！」と話していました。

食堂は、11月までの期間中、毎日11時から14時まで営業しています。

テープカットをする吉田町長（中央）、西﨑会長（右3）、ＦＭＢメンバー

各自治体からの応援メッセージ

吉田深浦町長

４団体の連携はとても心強い。新・ご当地グルメはファミリーレストランの商品より魅力的な料理が揃っている。今後も仲間を増やし活動していってほしい。

船橋平内町長

各地域ともチームワークよく活動されているので今後も協力して活動してほしい。ヒロ中田さんから50万食が目標とあったが、倍の100万食を目指してがんばってほしい。

秋元中泊町副町長

各地域が切磋琢磨しながら観光の起爆剤として手を携えて活動していただきたい。

山本田子町長

４つのグルメのうち田子は唯一の農畜産物ですが、こうしてS－1という団体を設立して活動していくことはとても心強い。今後もバックアップしていきたい。

三村知事（左）に料理を紹介する西﨑会長

キレイな町を 自らの手で 沿道美化清掃

①

②

③

① 千畳敷駅付近を清掃
② 集められたゴミの山（５区）
③ 道路脇の雑草を駆除（田野沢）
④ 国道沿いの草むらの中を清掃（崎の町）
⑤ 海岸に打ち上げられたゴミを拾う（関）

④

⑤

春の恒例行事となっている沿道美化清掃が４月16日、町内全域で実施され、自治会や老人クラブなど約３，５００人が参加しました。

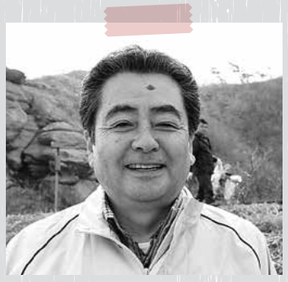
このうち、驫木地区では約50名が地区内を清掃。早朝５時前から住民が集まり、集落内をはじめ、国道沿いのゴミを熱心に拾いました。12区では、地域の住民と共に㈱東北タンク商会の社員15名が清掃に参加し、海岸に打ち上げられた流木などを拾い集めていました。

また、ＪＲ五能線千畳敷駅付近では、ＪＲ東日本秋田支社の社員とその家族46名が参加し、線路脇と千畳敷海岸のゴミ拾いを行いました。五能線は人気ローカル列車ランキングで日本一に輝き、人気列車「リゾートしらかみ」なども運行する全国的にも有名な路線。なかでも、特に人気区間となっている千畳敷駅は、今年からリゾート列車が停車する本数が増えるなど乗降客の増加が見込まれており、参加者は周辺の線路脇に散らばる空き缶やペットボトル、プラスチックなどを黙々と拾い集めていました。

作業を終えると、周辺には大量のゴミの山が出現。今回の沿道美化清掃で集められたゴミは、燃えるゴミが約13トン、燃えないゴミが約５トンにもなりました。粗大ゴミも合わせると全体で約18トンのゴミが集められ、町内の建設業者等の協力を得て運搬、処分されました。

沿道美化清掃で町全体がきれいになった今、ゴミを捨てにくい環境になっています。きれいになった町の景観を維持していくためにも、町民自身が「ゴミを捨てない！」との意識をもつことが求められています。

沿道美化清掃に参加したみなさん



小山　幸市さん（弘前市）

ＪＲ東日本秋田支社として参加しました。冬の海風で飛ばされたゴミが線路脇に転がっているので、人気路線の景観を守り維持していきたいです。

長谷川　寛さん（北金３区）

沿道美化清掃は地域団結のための恒例行事となっています。キレイな地域を保ち、生活しやすい町にしていきたいです。

川浪　伸也さん（左）と成田　智広さん

東北タンク商会として参加し５年目になりました。深浦の皆さんにはお世話になっているので、恩返しとして清掃に参加しています。
海岸沿いの風光明媚な景色は素晴らしいです！

白川　優さん（崎の町）

毎年、沿道美化清掃に参加しています。清掃してキレイな街並みを見ると気持ちがイイです。
ゴミは持ち帰る意識をもってこれからも生活します。

がん検診に行こう

町の受診状況は？

がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させることにあり、日本全体で受診率を上げようと様々な取組みが行われています。

国では、がんの早期発見と、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定した「がん対策推進基本計画」の中で平成24年度から28年度の5年間の計画期間中、各種がん検診の受診率を50％以上とすることを目標に掲げています。

先日、平成27年度における深浦町の各種がん検診の受診状況が公表され、国の目標に遠く及ばない結果が明らかになりました。内訳としては、大腸・肺がんは30％台、胃・前立腺がんは20％台、乳・子宮がん検診にいたっては10％台と非常に低い受診率となっており徐々に受診率は増加してきているものの、伸び悩んでいる状況にあると発表されました。

また、町ではがん検診で要精密検査対象者とされた方の精密検査受診率は70％台～90％台と、目標としている100％に達していません。肺・胃・乳・大腸がんの精密検査は9割以上の方が受診されていますが、前立腺・子宮がんの精密検査受診率が低く、精密検査受診率全体を押し下げているのが現状です。

平成27年度各種がん検診受診状況

	胃がん	大腸がん	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん
対象者	40歳以上 男女			50歳以上 男性	30歳以上 女性	20歳以上 女性
受診者	1,334人	1,702人	1,663人	463人	531人	423人
受診率	24.9%	31.7%	31.4%	21.7%	16.2%	12.4%
要精密検査者	174人	120人	45人	24人	14人	4人
精密検査受診者	162人	110人	44人	19人	13人	3人
精密検査受診率	93.1%	91.7%	97.8%	79.2%	92.9%	75%

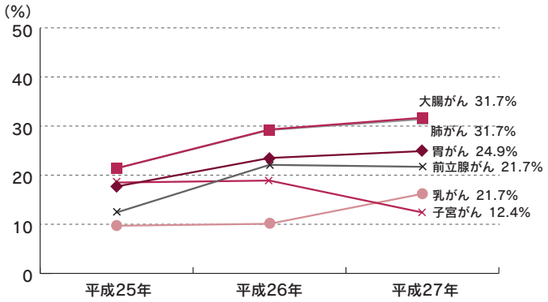
がん検診の必要性

検診によって見つかる(疑われる)がん細胞は自覚症状が無い時点のもので、がんが進行していない状態で発見される可能性が高くなっています。医療が進んだ現在では早期発見、早期治療により多くのがんが治るとされています。

がん検診では、がんになる前の病変が発見されることもあり、子宮頸部異型上皮、大腸腺腫(ポリープ)等の前がん病変は、それを治療することでがんになることを防ぐことができます。

発見が早期であればあるほど治療後の経過が良く、元の生活に早く戻ることができます。がんを早期発見するためには、毎年検診を受け、精密検査が必要であれば確実に受けることが大切です。

各種がん検診受診率の推移



受診率向上のために

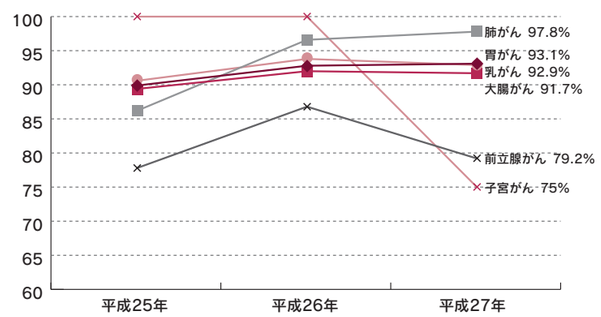
町では、平成28年度も特定健診や各種がん検診を無料で行います。各がん検診の種類により対象年齢などの条件がありますが、気軽に受けられる検診です。

青森県では、平均寿命全国最下位・短命県返上を掲げています。「どこも悪くない」と言って気づいた時には手遅れとなっている場合があります。

検診の詳しい情報は、お近くの保健協力員や地域包括ケアセンターへお問合せください。

一つでも多くの検診を受診して、病気の早期発見に役立てましょう。

各種がん検診精検受診率の推移



地域住民の健康づくりを手助け

4月27日、町民文化ホールで深浦町保健協力員会総会・研修会が開催されました。

総会には協力員75名が出席。

総会に先立ち、山田律子会長（7区）から「今回の研修会を機に、改めて健康に目を向け周りを巻き込みながら健康意識を向上させてほしい」とあいさつがありました。その後、議事が行われ、提出された議案がすべて承認されました。

引き続き行われた研修会では、株式会社ウェル・ビーイング代表取締役の鈴木誠二氏が「その気にさせる健診のすすめ」と題し講演。鈴木氏は、深浦町の医療費と健診のデータを分析し、高齢化が進む深浦町では、循環器系の疾患を中心とした生活習慣病の多さを指摘しそれらの疾患を抑えるためには健診受診がカギと説明。健診を勧めるためには、相手の身になって考え、どのようにアプローチしたら受診意識が向上するか実例を示して説明しました。

参加した保健協力員は、町民の健康づくりの手助けになるべく、熱心にメモを取りながら自らの役割の大切さを認識していました。

また、20年間保健協力員を務めた5名に感謝状が贈られました。受賞者は下記のとおりです。

20年保健協力員を務め感謝状を贈られた皆さん

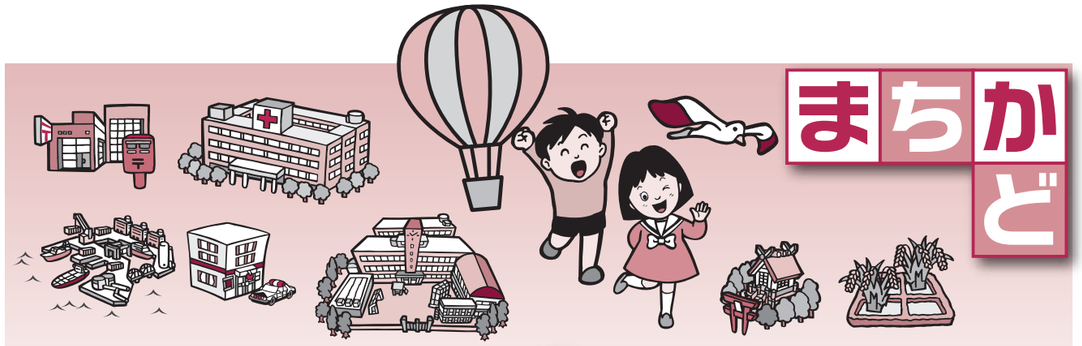
米谷ハルヱさん（柳田）

坂﨑久美子さん（風合瀬）

一戸マリ子さん（風合瀬）

山田律子さん（7区）

上田玲子さん（6区）



まちかどウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課　企画調整係
電話　74－2122

新生活に胸がわくわく　4/7

教科書に興味深々

小・中学校の入学式が町内一斉に行われ、小学校31名、中学校55名の児童生徒が新たな学校生活をスタートさせました。

このうち、いわさき小学校には男子２名、女子４名が入学。式では、新１年生が６年生に手を引かれながら、少し緊張した面持ちで入場しました。

式終了後、教室に戻るとこれから使う教科書や道具箱が配られ、真新しい教科書に目をキラキラ輝かせていました。

児童らは、「勉強や運動会を頑張りたい」と今後の新生活に胸を膨らませていました。

交通ルールを守りましょう　4/8

安全運転を呼びかける

４月６日から15日にかけて実施された春の交通安全運動の期間中、町でも交通安全母の会、警察関係者ら21人が役場庁舎前で街頭指導を行いました。

今年は、子どもと高齢者の交通事故防止、夕暮れ・夜間の事故防止、全席のシートベルトとチャイルドシートの着用、飲酒・暴走運転の根絶をテーマに運動を実施しました。

参加者は「交通ルールを守って安全運転をお願いします」と、ドライバーに呼びかけました。

たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185－89－2666
http://www.takekuma-vet.com/
たけくま動物病院　検索

◎診療時間

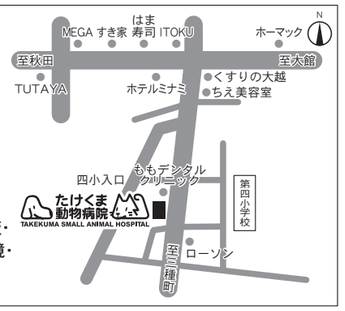
		月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00～12:00	○	○	10:00～12:00	○	○	○	10:00～12:00
午後	3:00～6:00	○	○	3:00～5:00	○	○	3:00～5:00	1:00～3:00

受付時間は終了の30分前までです

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

入院施設有
往診快諾

■ペットホテル有
■避妊・去勢手術随時受付
■狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
■各種検査、健康診断（血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等）



火事防止 消防団パレード　4/10

放水する消防団員

４月11日から17日の「春の火災予防運動」週間に先立ち、深浦消防署と町消防団合同の町内パレードが行われました。

このうち、国指定文化財や数々の寺宝が奉納されている「春光山円覚寺」では、付近の住宅からの出火が延焼拡大する事態を想定した重要文化財消火訓練が行われました。

命令を受けた第７分団、第10分団、第19分団が円覚寺に集結し、各分団員が機敏な行動により放水。有事の際の消火体制を確認しました。

訓練を見学していた子どもらは「かっこよかった。消防団に入りたい」と話していました。

春到来 十二湖山開き　4/14

無事故・安全を祈念する十二湖森の会　堀内副会長

観光シーズンの幕開けを告げる「白神十二湖山開き」が、アオーネ白神十二湖で行われました。

関係者約120名が出席した安全祈願祭では、観光関係者が献華し、世界自然遺産・白神山地や十二湖・青池を訪れる観光客の安全と無事故を祈念しました。

その後、参加者は十二湖森の会のガイドと共に青池を散策。曇り空でしたが、澄んで輝く青池にしばし見とれ感動していました。

交通死亡事故ゼロ３年達成　4/20

吉田町長（中央）と鈴木部長（右）

深浦町における交通死亡事故ゼロ３年が平成28年４月７日午前０時に達成されたことを受け、青森県庁において表彰状の贈呈式がありました。

贈呈式には吉田町長のほか町関係者が出席し、県環境生活部鈴木部長から表彰状の贈呈を受けました。

町では今後も交通安全母の会や交通安全協会と連携を図りながら、交通事故の無い環境づくりの啓発に努めていくこととしています。

ふかうらのいいもの

これが深浦のブランド特産品

特産品販売者をご紹介。先生は『ゆうひくん』にお願いします。
１時限ごとに販売者と商品（複数の場合は代表）を紹介していきます。

14時限目

【 今 商 店 】～浜町～

今 まり子さん(浜　町)

特産品認定商品

「まり子」の作った手造りいか塩辛

あっつあつのご飯に１すくい。いかの旨みがギューッとつまった濃厚な塩辛。地元の方にも味わってほしくて、自家用を商品化したんだって。この塩辛は丁寧なイカの下処理に秘伝の塩加減でいいあんばいに仕上がっているそう！お店は深浦港の近くにあり、新鮮なイカをすぐに加工できるんだ。僕は同店で作っている「のしいか」もファン♪

今さんの深浦メモ
広戸の坂からの風景はオススメ！

－ 「まり子」の作った手造りいか塩辛 のあれこれ －

Q基本情報は？-１個150ｇ、500円（税込）、冷凍
Qかくし味は？-唐辛子です！
Q町内の販売所は？―自店、ウェスパ、かまど屋
Qオススメは？-普段食べるじゃがバターに乗せるだけ！
塩辛じゃがバター☆
お酒のつまみにも最高～!!

今商店の商品はこのシールが目印です！

◎塩辛、アジの焼干し、しょうゆ味のキス
目印は今さんのイラスト入りのパッケージ☆

いか好きな方、食べてみて！

どれでも１つ500円♪

15時限目

【 深浦町食産業振興公社 】～舩作～

島元 義彦さん(岡　町)

商品化のご依頼承ります！

特産品認定商品代表

雪にんじんポタージュ

「食欲のなかったおばあちゃんが「おいしい」ってゴクゴク飲んだわ!」という声もあったポタージュ。添加物を使用せず、人参の旨みと牛乳の風味を大切に製造したなめらかな、体に染み込むスープ。公社はラーメン101の近くにあって、７人の少数精鋭。商品の開発・製造・ＰＲだけでなく、県内では数少ない野菜の一次加工を行っています。近々、３種類のドレッシングや、あの食材を加えたポタージュも新発売されるそう。
今後も公社から目が離せない!

－ 雪にんじんポタージュ のあれこれ －

Q基本情報は？－１箱160ｇ、385円（税込）、常温
Qオススメは？－温かくしても冷たくしてもおいしい！
自分好みにアレンジしても◎。
Q町内の販売所は？－自店、アオーネ、ウェスパ、かまど屋、
風待ち舘、いか焼き村等々！

島元さんの深浦メモ
十二湖青池の色は決して飽きない、見事な色。

◎白銀の下、おいしさの魔法
日本に誇れるふかうら雪人参☆

おかあさんに大好評！

『ふかうらのいいもの』に関するお問合せについては下記までご連絡ください。
深浦町特産品振興会事務局（観光課商工振興係）0173-74-4412

明るい町へ　街路灯寄贈

4/22

東北電力株式会社五所川原営業所の高杉和郎所長と株式会社ユアテック五所川原営業所の熊谷直彦所長が町役場を訪れ、ＬＥＤ街路灯10基寄贈の目録を吉田町長に手渡しました。同社は、「電気を通じて明るく住みよい街づくりに活用してほしい」と話していました。

町では、今後、設置場所を検討し随時設置していくこととしています。

吉田町長を囲む高杉所長（左）と熊谷所長（右）

「大きくなって！」と願いを込めて

4/22

稚魚を放流する児童ら

サクラマス幼魚とサケ稚魚の放流式が、追良瀬親水公園で行われました。

放流式には、関係者のほかみよし保育園児や深浦小３年、修道小４年など約100名が参加。サクラマス幼魚とサケ稚魚約20万尾を追良瀬川に放流しました。子どもたちはバケツいっぱいに入った稚魚を、元気に帰ってきてねと願いながら放流していました。

追良瀬川でのふ化事業は、サケが昭和41年度、サクラマスが57年度から実施されており、日本海側における初のふ化場としてサケ・マス資源確保の重要な役割を担っています。今年度は、サクラマス約５万尾、サケ920万尾を放流する予定です。

青森県最速の放牧

4/28

畜産農家の省力化と繁殖牛の飼育コスト削減を目的とした放牧が、追良瀬牧場で行われました。

追良瀬牧場は、春から秋まで放牧する「夏山冬里方式」で繁殖牛を育てており、草を求めて広い草地を歩き回ることで、健康で病気に強い丈夫な繁殖牛作りに取り組んでいます。

今年も、９軒の畜産農家から成牛・仔牛合わせて３９頭が牧場へ集合。個体確認を終えた牛たちは、柵が開けられると勢いよく走り出し、久しぶりの草地を元気に走り回りました。

職員に手を引かれる牛

100歳のお祝い

4/28

親族とともに長寿を祝う

島川ふみさん（３区）が100歳の誕生日を迎え、吉田町長から顕彰状などが贈られました。

島川さんは、1916年（大正５年）旧大戸瀬村田野沢生まれ。1931年（昭和６年）に結婚、田畑に出て農作業をするのが好きだという島川さんは、子ども４人、孫３人、ひ孫２人に恵まれました。

長生きの秘訣は、「ご飯をよく噛んで、新鮮な魚を食べること」と話していました。

現在、「しらかみのさと」に入所しており、施設の職員や入所者、集まった親族から祝福の拍手が贈られました。

ふかうら学

教育委員会では、町の社会教育推進に向けた事業を実施しています。その一つとして、「町民の主体的な学習の推進」を目指し、社会教育団体、グループ、サークルなど多くの団体の活動を支援しています。

今回は、生涯学習事業と団体の設立についてを紹介します。

○生涯学習フォーラム … 生涯学習の推進に努め、地域教育力向上を目指す
○総合型地域スポーツクラブ … 気軽に運動できる環境や、地域のコミュニティづくりを目的とする

「生涯学習フォーラム」

心の豊かさが活力ある生活につながると考え、生涯学習の推進を目的に、琴伝流大正琴「クローバーの会」、深浦ネブタ囃子保存会、深浦町老人クラブ連合会、深浦町連合婦人会、読み聞かせ「だんぶり」など、町内で活動する社会教育団体を紹介しました。

各団体の代表より、設立経緯、目的、活動の内容を発表していただき、また会場内に普段の活動で使用している楽器や写真、資料などが展示され、さまざまな形で生涯学習に取組んでいることが分かりました。

写真や映像などを使用し、普段の活動内容を発表しました。

総合型地域スポーツクラブ「Joy Spo! ふかうら」を設立しました！

子どもや大人の世代間交流の場所にもなっています。

昨年４月に設立準備委員会を立ち上げ、「走り方教室」や「ノルディックウォーク体験会」などを開催しながら準備していましたが、このたび正式に設立することができました。

当クラブは、地域のみなさんに対し「スポーツ（遊び）の機会と健康づくりの提供」、「地域コミュニティづくり」などをモットーに、「いつでも・だれでも」楽しめる場や環境を築くことを目指しています。

今後、さまざまなイベントを実施する予定であり、広報等でお知らせしますので、みなさんぜひご参加ください。

○「Joy Spo! ふかうら」からお知らせ

みなさんに楽しんでいただくイベント開催及びコミュニティづくり推進のため、「走り方教室」やウォーキング以外でやってみたいスポーツなどがありましたら、ぜひご相談ください。

◆問合せ先：「Joy Spo！ふかうら」事務局（深浦町教育委員会教育課内）　担当　吉田
TEL：74−4419　　FAX：74−3050

健康万歩計

健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター
板井恒二 先生
いたい皮ふ科・院長

湿疹と食物アレルギーについて

湿疹やアトピーが治らない。という患者さんが沢山いらっしゃいますが、殆どは「泡（界面活性剤）」による慢性皮膚炎です。泡の使用中止だけで治る方が殆どです（止められない方や擦ってしまう方は再発しますが…）。皮膚のバリアーを低下させる原因としては、石鹸やシャンプー等の泡（界面活性剤）が一番です。皮膚が乾燥したり、湿疹がある人の皮膚に付くと奥に入り込み、流しても落ちません。

赤ちゃんで顔面の湿疹が治らない。という患者さんも多いですが、殆どは泡や刺激が原因です。石鹸や市販のウエットティッシュを止めて、一度きちんと治るまで短期間ステロイドを外用すれば殆ど治ります。ネットで調べたり、周りの「医療関係者」に副作用だけ吹き込まれて、疑心暗鬼になった方が、中途半端に使用して治らない、と来院されます。

ステロイド外用の副作用は①毛嚢炎が出やすくなる。②治った部分へ数週間付け続けると皮膚が薄くなって赤くなる。位です。外用中止で暫くすると元に戻ります。ステロイド外用直後は、外用部の血管が一時的に収縮して白くなるのも不安なようですが、これも戻ります。

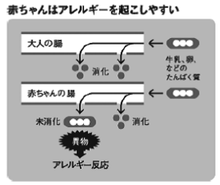
その方々に副作用を聞くと、「恐ろしいものだ。」としか理解して居ない人が殆どで、具体的には理解して居ない様です。内服の副作用とごちゃ混ぜに理解して居るようです。きちんと指示通りに外用しないと、長期間外用することになって、副作用が出やすくなります。

自己判断での医薬品の使用法は、本人や子供さんにも悪影響を及ぼし、損をしますので不安な点があれば問い合わせしましょう。

全身の湿疹が治療しても繰り返す赤ちゃん等で検査をすると、卵白等が陽性になる事があります。現在「減感作療法」と言って、食べてアレルギーを弱くする。という治療が行われております。しかし卵白に強陽性の場合は注意が必要です。それは①熱を加えてもアレルギーの源が壊れない。②４～５歳位までは消化能力が低いので上手く分解解毒できない。③口の周りの皮膚に付くと逆にアレルギーが悪化する、という事です。

「茶のしずく」という石鹸で小麦アレルギーを起こした事件を覚えていますでしょうか？これは、小麦を分解したものが石鹸の泡立ちを良くするために添加されており、それが皮膚に付く事によって、アレルギーを起こしたのです。この様に、**皮膚に食べ物や分解物が付くと、アレルギーが悪化します。**なので、顔に食べ物を付けてしまう、4～５歳位までは食べない方が良いと思います。

幼稚園に入る頃に試してみて、症状が出なければ様子を見ながら食べても良いと思います。冷たい物を取り過ぎたり、風邪や下痢をしていると、消化能力が低下しますので、体調の良い時にお試しください。卵や油脂を使う食べ物の過量摂取は、元々さっぱりした和食に慣れている日本人の胃腸、特に小さい子には負担なので、そのＳＯＳとして、アレルギー症状を起こしているのかも。と勝手に想像しております。



赤ちゃんの胃腸の面積は大人より小さいのと消化液が少ないので、**6か月以前の離乳食**は推奨されておりません。

広告募集中!!
会社やお店の宣伝・イベントの告知にご利用ください!
問合せ先
総合戦略課 企画調整係
74-2122

Sai ~beauty salon~
open　8：30～
定休日：月曜日、第３日曜日
深浦町大字広戸字家野上 134-2
↓ご予約はこちらから↓
☎ 74-4336
ayachan811987@gmail.com
@sai2013

大切な御縁をいただいたお客様に　～ありがとう～　と言われる仕事を心掛けています。
家族葬から一般葬・社葬までご予算に応じた御葬儀を提案・施工いたします。
ご用命は任せて安心の
厚生労働省認定
１級葬祭ディレクター在籍店
株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service
電話(74)4536
FAX：74-4546
従業員募集中
病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で！
「一般貨物自動車運送事業（霊柩）第４９７号」
365日・24時間受け付けております。

深校だより

平成28年度木造高校深浦校舎始動

4月8日、平成28年度木造高校深浦校舎の入学式が行なわれ、新たに21名の新入生が入学しました。出身中学校の内訳は、深浦中学校15名、岩崎中学校5名、大戸瀬中学校1名です。

本校の吉田健校長は、「高校生活を積極的な姿勢で臨み、毎日を有意義に過ごしてほしい。そして自分の能力をどれだけ伸ばすかは自分の努力次第であり、本校はひたむきに努力する生徒には、その期待に応えられるよう最大限支援する。また総合学科の学習には地域を学ぶ、地域から学ぶという内容もあり、深浦町に貢献するような活動を1年間通して行っていく。皆さんの活力が町の活性化につながっていくので、このような活動にも積極的に参加してほしい。」と新入生を激励しました。新入生を代表して、白戸空冴君（深浦中学校出身）が、今日の喜びを忘れることなく、深浦校舎の発展のために努力していきたいと述べました。

また、11日に行われた対面式では、千﨑音寧さん（深浦中学校出身）が、勉強や部活動など様々なことに一生懸命取り組んでいきたいと述べ、生徒会長の熊谷鴻汰君と笑顔で握手を交わし、記念写真を撮りました。対面式の後は部活動紹介が行われ、卓球のラリーやバドミントンのスマッシュなどパフォーマンスも上手く取り入れて、新入生に各部活動をアピールしました。今後、部活動は新体制で高校総体まで頑張りますので応援をよろしくお願いします。

深浦校舎では今年度も森林セラピー遊歩道整備や駅からハイキングなどを継続、発展させ、深浦町活性化のために一生懸命努力していきます。また新たな取り組みも行っていく予定ですので、今後の深浦校舎の活躍に期待していただくとともに、町のみなさんのご協力をお願いしたいと思います。

【5・6月の行事予定】

5月16日(月)　第1回研修委員会
17日(火)　進路講話
18日(水)　交通安全教室
19日(木)　1年次白神体験学習
　　　　　2・3年次遠足
25日(水)　高校総体壮行式
6月4日(土)～5日(日)　高校総体
11日(土)　体育祭

広報ふかうら編集部のたまらないランチ
『たまランチ』第11回

このコーナーは、編集部がいつも食べている好きなランチをただただ紹介するコーナーです。

かまど屋
『北前(きたまえ)船そば』
￥680

今回訪れたのは、円覚寺の向かいのこみせに並ぶ「かまど屋」。

店内に入ると、常連の婦人がコーヒーを飲みながら店主と談笑していて、お店はちょっとした語り場となっています。

今回注文したのは、「北前船そば」。とろろ昆布とめかぶがたっぷりと入ったそばは優しい味でほっとした気持ちになります。

その他のメニューには、季節の野菜の天ぷらが乗った観音そば（￥500）や、岩の磯の香りが楽しめるかまど屋風そば（￥580）があります。大盛りも対応可能のようです。また、おしるこやアイスなども扱っているのでちょっとした休憩にも最適です。

これが俺のたまランチ！

【店舗情報】
深浦町大字深浦字浜町280
TEL 74－4353
定休日　不定休

町民文芸
～川柳～

雑草の自負だ鬼とも手を結ぶ　草野力丸

寝たきりの窓辺に四季の花明り　山野茶花子

冤罪の窓は白紙に戻らない　浜町闊歩

重宝な輪ゴムの心内に秘め　蒲田磨砂

さらさらと音がまぶしい春の川　乳井光昭

揺れ動く現世を見抜き前向きに　後藤信柳

迷いぬき決めた心は揺るがない　佐々木かもめ

編・集・後・記

今回の表紙の写真は、追良瀬川流域で行われたサクラマス幼魚とサケ稚魚の放流式を取材した際に撮影しました。

当日は青空が広がる最高の天気。農林水産課から胴長靴を借り川からの撮影を試みました。前日の雨の影響か、川の流れが強く油断すると体が流されそうな勢い。撮影を終え、陸に上がろうとしたとき「ボチャン」と勢いのある音が。振り返ると、びしょ濡れになった1人の職員がいました（笑）

カメラを持っている私にとっては冷や汗もの。海や川での撮影は気を付けていきたいと思います。

戸籍の窓
3月21日～4月20日までの戸籍届出

お誕生おめでとう

- 佐藤 進一朗(しんいちろう)（翔太 瑠美）6区
- 藤田 澪(みお)麗(り)（憲史 真喜）森山

ご結婚おめでとう

- ♥ 西崎 優（舮作）　岩谷 恵（五所川原市）
- ♥ 大川 昭裕（北金2区）　山崎 雅（北金3区）
- ♥ 齊藤 和馬（弘前市）　菊池 香恋（岩崎上）

おくやみ申し上げます

- 坂本 正春（78歳）舮作
- 黄金崎 りつ（88歳）舮作
- 熊谷 こよ（92歳）横磯
- 西沢 幸光（84歳）横磯
- 藤谷 とさ（91歳）3区
- 神 ミヨ子（88歳）長慶平
- 石澤 和子（76歳）広戸
- 工藤 五郎（93歳）広戸
- 黒滝 ときわ（103歳）塩見崎
- 坂崎 一夫（83歳）風合瀬
- 田中 善悦（88歳）風合瀬
- 阪崎 榮（94歳）風合瀬
- 山下 福松（89歳）晴山
- 兼平 雅人（48歳）田野沢
- 山本 せつ（94歳）田野沢
- 根上 信男（72歳）北金2区
- 八木橋 紀幸（48歳）北金3区
- 木村 只吉（88歳）関
- 平澤 秀正（72歳）関
- 小山内 篤一（88歳）岩坂
- 神馬 初實（89歳）沢辺
- 丸山 功一郎（50歳）岩崎上
- 川村 ツヰ（95歳）大間越

【お詫びと訂正】

先月号に掲載した「こんなに元気です！」の氏名に誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

（誤）島山保喜
（正）島川保喜

深浦町の人口と世帯
《4月末日現在》（　）内は前月比

男……4,169人（－10）
女……4,666人（＋ 3）
計……8,835人（－ 7）
世帯数　3,838世帯（＋13）

深浦町の総面積　488.89㎢

ちびっこチャンピオン

「お母さん いつもありがとう！」

きらら保育園のなかよしたち

（左から）

すがわら　り　　なさん（5さい）
いわもと　ゆ　　あさん（5さい）
あ き ほ　えいしんくん（5さい）
や ま ね　ゆ う がくん（5さい）

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介していきます。

深浦町の花

福寿草

深浦町の木

橅

深浦町の鳥

カモメ

＊寄附者の紹介＊

ふるさと納税制度を利用したご寄附を次の方からいただきました。

○東京都台東区　須賀　孝　様
○兵庫県神戸市　勝本健司　様
○東京都品川区　武山　浩　様
○東京都世田谷区　大橋美奈子　様

ありがとうございました。

こんなに元気です！

山本　唯乃（ゆいの）ちゃん
（父　豊さん　母　裕行美さん）　風合瀬

★このコーナーでは、
1歳を迎えたチビッコ達をご紹介します★

発行／青森県深浦町　編集／総合戦略課企画調整係
☎0173－74－2111（代表）

ホームページアドレス　http://www.town.fukaura.lg.jp/